

第 193 号 発行日 平成 25 年 2 月 4 日

合格通信

今
月
の
名
言

「学ぶ」という行為の根底には、自分が大きく育って行く事を感じる「喜び」がある。

—小松左京—
(作家)

これは、塾生のみなさんと、特進スクールを訪れてくれた、小中高校生の皆さんとお問い合わせいただいたお父さん、お母さんに向けて、勉強法や受験に役立つ話題をお届けする情報誌です。

子どものタイプ別対処法⑩

保護者面談をしているとよく「何でうちの子はやる気を出してくれないのだろう」そう言うってくる親はとても多いのです。けれども子どもはひとりひとり性格が違いますし、これまで育ってきた環境も違います。やる気が出せない理由は様々です。なかなか勉強に入っていない子どもたちには、どのような悩みがあり、どんな問題があるのでしょうか。



「分からない問題に直面した時の解決策」・・・まず自分の力で考え抜こう。そして辞書、参考書、それにいままで勉強した内容。これらを根気よく調べれば、必ず答えが見つかる。

よく自分で考えようとせず、すぐに質問してくる生徒がいます。例えば、数学の証明問題をまるごと「わかりません」と持ってきたり、説明をよく考えずただ「わかりません」と返答したりします。勉強というのは自分の頭で考え、論理的に解釈し、理解することです。けれども、この**自分の頭でぎりぎりまで考え抜くということが、なかなかできない人が多いのです**。少し難しい問題に直面すると「自分には無理だ」と決め込んで挑戦しようとしません。これでは成績が上がらなくて当然です。ですから、まず**「自分の頭で考え抜く」、それでもわからなければ「辞書や参考書で調べる」それでもダメなときは「人に聞く」、**こうした手順で勉強を進めましょう。

では調べ方について説明していきます。使うツールとなるものは、

- ①辞書（国語辞典、英和辞典）
- ②参考書と用語集
- ③前に勉強したもの（教科書、ノート）

おもにこの3つです。

①国語辞典は用語の意味が分からないとき使います。国語だけではなくすべての教科に使えます。

たとえば、理科、社会でも温暖前線、惑星、恒星、化学変化、原子、分子。社会では律令制、荘園、幕府、産業革命、資本主義。数学でも、錯角、同位角、一次関数、など国語辞典に載っています。机の上に常に置いておきましょう。

～次回に続く。